

平成20年11月11日

「根室線 新大楽毛・新富士間鉄道高架」の使用開始について

JR北海道では、平成17年度より、釧路限度額立体交差事業（事業主体：北海道・釧路市）のひとつである「根室線 新大楽毛・新富士間鉄道高架」の工事を行っていましたが、このたび完成し、11月17日早朝より使用開始となります。

本工事は、道東地区の物流拠点である釧路西港第4埠頭と国道38号線の交通アクセス円滑化のため、根室線と交差する2本の都市計画道路整備の一環として、鉄道高架方式による立体交差化を図るものです。

なお、このたび完成した「星が浦海岸通架道橋」は、高架橋のランドマークとして、PCランガー橋梁を採用しております。（PCランガー橋梁：弓なりのアーチ状の部材を有した橋梁）

【星が浦海岸通架道橋（PCランガー橋梁）】



工事概要

工事区間 根室線新大楽毛・新富士間：約2.1km（うち高架橋区間：約1.8km）

廃止される踏切 無

主な構造形式 高架橋

架道橋 2ヶ所

橋りょう 2ヶ所

計画道路 2箇所〔星が浦海岸通（道道）星が浦西通（市道）〕

工期 平成17年度～平成21年度（鉄道高架使用開始後に現橋りょう撤去）

